

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和7年6月27日発行)

1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原管内を含む大崎管内

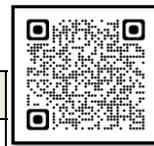
上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾病	疫学週			
	22週 5月26日 ~ 6月1日 731	23週 6月2日 ~ 6月8日 658	24週 6月9日 ~ 6月15日 655	25週 6月16日 ~ 6月22日 578
急性呼吸器感染症(ARI)	146.20	131.60	131.00	115.60
	インフルエンザ *	0.20	0.20	0.20
	新型コロナウイルス感染症 *	0.20	0.40	0.40
小児科定点	RSウイルス感染症 *	0.33	0.33	1.00
	咽頭結膜熱 *	1.33	3.00	0.67
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 *	3.33	4.00	2.67
	感染性胃腸炎	2.33	3.33	4.00
	水痘		0.67	0.33
	手足口病			3.67
	伝染性紅斑	3.00	6.67	5.67
	突発性発しん	1.00	0.33	0.33
	ヘルパンギーナ *			
	流行性耳下腺炎		0.33	
眼科定点	急性出血性結膜炎			
	流行性角結膜炎			
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)			
	マイコプラズマ肺炎		2.00	1.00
	無菌性髄膜炎	1.00		
拡張疾患	マイコプラズマ肺炎(小児科)		2	2
	川崎病	2	1	1
	不明発疹症	1		

大崎保健所管内定点数:内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況 ※栗原管内の過去2週間における保健所対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	—	—	—
備考			



感染症情報は
こちら



感染症予防啓発物品
の貸出しはこちら



性感染症検査の
申込みはこちら

3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

【全数報告疾病】※栗原管内

- 3類:腸管出血性大腸菌 男1名
- 5類:百日咳 男3名 女5名
- 百日咳の県内の報告例は、5~14歳が約7割を占めています。他の年齢でも患者が報告されています。咳症状がある場合は、咳エチケット等の感染対策を徹底し、咳が長引く場合は医療機関へ御相談ください。

【定点把握対象疾患の発生動向】

- ※栗原管内を含む大崎管内
- 伝染性紅斑は定点あたりの報告数が高い水準で継続しており、警戒が必要です。

【集団発生状況】※栗原管内

- 新たな集団発生はありません。

【感染症~手足口病~】

- 4歳頃までの幼児を中心に夏季に流行するウイルス感染症です。成人を含めた小学生以上の大半は、既にウイルスの感染(不顕性感染も含む)を受けている場合が多いため、成人での発症はあまり多くありません。
- 3~5日の潜伏期を経て、口腔粘膜や手掌・足底・足背等に水泡性の発疹(2~3mm)等が出現します。発熱は約1/3に見られますが38℃以下のことがほとんどです。特別な治療方法はなく、基本的に軽い症状であるため、経過観察を含め、症状に応じた治療となります。
- 感染経路は、飛沫・接触・糞口感染です。
- ウイルスは症状回復後も便中に約2~4週間排泄され、長期にわたって感染源になる可能性があります。
- 発疹に触った後・排便後・乳幼児のおむつ交換後の手洗い、換気、環境消毒等を徹底しましょう。(アルコール消毒が効きにくいウイルスなため、塩素系の消毒薬を使用してください。)

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 📠0228-22-7594